

研究タイトル： 連携と文系的資質に基づく国際教育



氏名： 松田 奏保 / MATSUDA Kanaho E-mail: matsuda@tomakomai-ct.ac.jp

職名： 教授 学位： 修士(文学)

所属学会・協会： 日本アメリカ文学会, 全国高等専門学校英語教育学会, 北海道英語教育学会

キーワード： 英語教育、国際化教育、英米文学、教養、連携

 技術相談
 提供可能技術： 英語教育、国際化教育

研究内容： 連携と文系的資質に基づく国際教育とその意義

社会のグローバル化が進む中、国際通用性をもった人材を育成するための国際化教育が重視されています。国際化教育には様々なやり方がありますが、効率や教育の質保証、新分野開発といった観点から、最近では「連携事業」がみられます。国際化教育を進める上での、連携のメリットとデメリット、問題点や継続方法などを考えながら、効果的な国際化教育のあり方を探っています。

また、国際通用性を高めるためには、英語力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などのスキルを身につけることが大切ですが、それと同時に、文化や歴史、法律といった文化的多様性を踏まえながら世界の人々と共生できる力も必要です。文学を学ぶことは、異文化理解、思考力・表現力、感性を養うことにつながります。また、法的思考を身につけることは、社会への適応や問題解決に役立ちます。このことから、文学や法的思考の育成を通じた国際化教育の可能性とその意義を捉えようとしています。

<関連主要論文>

- ・「アジアにおける国際教育についての意識調査－リーガルマインド育成を目指して－」, 松田奏保, 松尾優子, 佐々木彩, 全国高等専門学校英語教育学会研究論集, 2020
- ・「Surveys on Career and Global Education for Program to Develop Legal Mind」, Kanaho MATSUDA, Yuko MATSUO, Sai SASAKI, The 13th International Symposium on Advances in Technology Education, 2019
- ・「高専生が「文学」を学ぶ意義－国際化教育の観点から－」, 松田奏保, 全国高等専門学校英語教育学会研究論集, 2017
- ・「国際化教育へ向けた連携のあり方－組織論の観点から－」, 松田奏保, 全国高等専門学校英語教育学会研究論集, 2016
- ・「Report on Workshops of Career Plan in International Exchange Program」, Yuko MATSUO, Kanaho MATSUDA, The 10th International Symposium on Advances in Technology Education, 2016
- ・「Comparison of Work Values between Engineering Students of Japan and Hong Kong」, Yuko MATSUO, Kanaho MATSUDA, The 9th International Symposium on Advances in Technology Education, 2015
- ・「学術交流協定校との国際共同教育の実践」, 松田奏保, 石川希美, 論文集「高専教育」, 2010

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	